

## 第66回粘土科学討論会のお知らせ

■ 主 催：(一社) 日本粘土学会

■ 共催・協賛・後援：

環境放射能除染学会，産業技術総合研究所コンソーシアム Clayteam，資源・素材学会，資源地質学会，地盤工学会，日本応用地質学会，日本化学会，日本火山学会，日本鉱物科学会，日本ゼオライト学会，日本セラミックス協会，日本セラミックス協会資源・環境関連材料部会，日本第四紀学会，日本地学教育学会，日本地球化学会，日本地質学会，日本土壤肥料学会，日本熱測定学会，日本薄片研磨片技術研究会，農業農村工学会，産業技術総合研究所東北センター（順不同）

■ 期 間：2023年9月12日（火）～14日（木）

■ 会 場：戦災復興記念館（宮城県仙台市青葉区大町2-12-1）  
<https://www.hm-sendai.jp/sisetu/sensai/>

■ 日程（予定）：

	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	
9月12日(火)		受付	口頭発表		総会	理事会	特別講演	シンポジウム					懇親会
9月13日(水)			口頭発表		常務委員会	ポスター発表		口頭発表	編集委員会				
9月14日(木)					ポスター掲示	見学会							

■ 受付・参加登録：

参加登録料を送金済みの方には，受付にて講演プログラム，名札，アンケートなどをお渡します。

会員（正・シニア，名誉，共催・協賛・後援学協会会員を含む） 7,000円

学生会員（協賛学会学生会員を含む） 3,000円

非会員 15,000円

学生非会員 8,000円

参加登録料は原則として前納です。下記申し込み先にご送金下さい。討論会当日にお支払の場合，それぞれ2,000円割増します。また討論会当日にお支払いの場合，Zoomによるリモート参加およびオンデマンドポスター発表に参加できません。

■ 会場案内：

受付 2階記念ホール前ホワイエ

A会場 2階記念ホール

B会場 5階会議室

理事会・常務委員会・編集委員会 4階第1会議室

ポスター会場 地下1階展示ホール

実行委員控室 4階第3会議室

■ 総会・表彰式：

期 日：2023年9月12日(火)

時 間：11:30-12:30

会 場：仙台市戦災復興記念館 2階 記念ホール

開催形式：上記会場のみ

8月下旬をめどに，Google Formを利用した総会出欠のお問い合わせをメール配信いたしますので，そのフォームを利用して総会の出欠をお知らせください。上記フォームを利用しての出欠のご回答が難しい場合は，日本粘土学会事務局<clay-post@as.bunken.co.jp>までお知らせください。

なお、総会欠席予定者には、今まで同様書面、あるいは上記フォームへのご回答により委任状をお送りいただくようお願いいたします。

表彰式は総会終了次第開催いたします。

#### ■ 特別講演及びシンポジウム：

9月12日(火)13:30~18:00 (2F 記念ホール)

13:30~14:20

特別講演 東北大学国際放射光イノベーション・スマート研究センター 村松 淳司教授

「よく定義された結晶性メタロシリケート粒子合成と放射光計測による骨格構造評価」

14:30~18:00

シンポジウム テーマ「カーボンニュートラル実現に向けた粘土科学の役割」

#### ■ 一般講演 (口頭発表)：

口頭発表は2会場で並行して開催します (A会場：2F記念ホール，B会場：5F会議室)。発表時間は交代時間を含めて15分です。講演8分・質疑6分です。ご自分のパソコンでパワーポイントを起動し、会場用意のプロジェクターケーブルに接続の上、発表をお願いします。

Zoomとのハイブリッドです。

#### ■ 一般講演 (ポスター発表)：

全てのポスター発表は次の2種類の方法によって発表いただきます。

##### ① 討論会 (オンサイト) 発表

9月13日(水)11:30~13:00 ポスター掲示，13:00~14:50 ポスター発表 (地下1F 展示ホール)

13:00-13:50 奇数番号発表コアタイム，14:00-14:50 偶数番号発表コアタイム

##### ② オンデマンド配信

9月13日(水)~20日(水) チャット機能による質問と回答をお願いします。アップロードするポスター原稿は、基本的に現地発表と同じものとし、ポスター発表開始前にアップロードを終了してください。発表者はすべてのチャットへの回答を心掛けてください。データアップロードの方法、参加方法などについては後日日本粘土学会ウェブサイトでご連絡します。

※ 優秀講演賞の評価はオンサイト発表のみを対象とします。

#### ■ 参加登録および一般講演・シンポジウム講演の申し込み

申込方法：Google Forms使用による申し込み

申込期間：2023年6月5日(月)~7月8日(土)

#### ■ 講演要旨公開について

講演要旨は2023年9月8日(金)に日本粘土学会ウェブページに掲載いたします。要旨の公開日は9月8日(金)となります。参加申し込みいただいた方に要旨ファイルを開くためのパスワードをお知らせします。

討論会終了後、講演要旨はJ-Stageにて公開いたします。公開を希望されない場合、討論会開催日までに日本粘土学会事務局までご連絡ください。

**■ 懇親会**

日 時：2023年9月12日(火) 19:00～21:00

会 場：伊達なおもてなし DUCCA仙台駅前

宮城県仙台市青葉区中央3-6-10 フージャス仙台駅前ビル3F (JR仙台駅徒歩3分)

<https://ducca-sendai.com/>

会 費：一般8,000円, 学生4,000円 (いずれも前納)

申込方法：Google Forms使用による申し込み受付。懇親会当日にお支払の場合、2,000円の割増になります。

**■ 見学会**

日 時：2023年9月14日(木) 8:30～16:30

見 学 先：新東北化学工業株式会社仙台営業所

(宮城県仙台市青葉区上愛子字倉内大森33)

土浮山鉱山 (宮城県刈田郡蔵王町) あるいは

川崎鉱業株式会社

(宮城県柴田郡川崎町大字今宿字上ノ台6番地1号)

行程 (予定)：JR仙台駅 (8:30発)→新東北化学仙台営業所 (宮城県仙台市青葉区上愛子字倉内大森, 見学時間1.5h)

→みちのく湖畔公園付近で昼食→土浮山鉱山 (宮城県刈田郡蔵王町) あるいは川崎鉱業株式会社 (宮

城県柴田郡川崎町) (見学時間1.5h)→JR白石蔵王駅 (16:30頃)→JR仙台駅 (17:30頃)

会 費：一般7,000円, 学生4,000円 (いずれも前納)

募集定員：15名

申込方法：Google Forms使用による申し込み受付。当日にお支払の場合、2,000円の割増になります。

※同業他社の方につきましてはお断りをする場合がありますのでご承知おきください。

**■ 託児所**

開設は予定していません。

**■ 討論会参加登録料・見学会会費・懇親会会費の払い込み**

支払期間：2023年6月5日(月)～7月8日(土)

支払先：ゆうちょ銀行振込口座

払込口座記号番号：00180-1-265701

加入者名：日本粘土学会討論会 (ニホンネンドガツカイトウロンカイ)

※他金融機関の窓口、ATMやインターネットバンキングから振込の場合、下記のゆうちょ銀行振込用口座番号までお振込み下さい。

銀行名：ゆうちょ銀行

金融機関コード：9900

店番：019

預金種目：当座

店名：〇一九 店 (ゼロイチキユウ店)

口座番号：0265701

振込先名：日本粘土学会討論会 (ニホンネンドガツカイトウロンカイ)

※今回より粘土科学誌への専用の払込取扱票は同封いたしませんので、各自口座振込をお願いします。

※振込手数料は、ご負担いただけますようお願い申し上げます。

**■ ご宿泊について**

各自ご手配ください。

**■ 会場までの交通**

・地下鉄利用

JR仙台駅から地下鉄東西線八木山動物公園行き、大町西公園駅で下車。東1番出口から徒歩6分。

## ・バス利用

仙台市営バス, 仙台駅西口バスプールのりばから, 東北公済病院・戦災復興記念館前で下車徒歩5分.  
10番のりば 茂庭台, 折立/西花苑行(西道路経由)  
13番のりば 全路線

## ・徒歩

仙台駅西口から約25分.

## ・タクシー利用

仙台駅西口から約5分.

(交通案内: <https://www.hm-sendai.jp/sisetu/sensai/access.html>)

車でのご来場はご遠慮ください.

## ■ 注意事項

1. 討論会終了後, 講演要旨はJ-Stageにて公開いたします. 公開を希望されない場合は, 討論会開催日までに日本粘土学会事務局までご連絡ください.
2. 配布された講演要旨集の無断複写, 転載を禁止します.
3. 口頭発表時のスライドおよびポスター発表時のポスターの写真撮影を禁止します. 講演者の記念撮影を行う場合には座長の許可を得て行ってください.
4. 討論会参加登録料(講演要旨代込), 懇親会会費, 見学会会費は原則として前納です. 指定期間内に指定の振込口座にお振込みください. 討論会当日に受付でお支払いいただくことも可能ですが, 各々2,000円の割増です. 振込された参加登録料などは原則として返金いたしません.  
非会員の方には, (一社)日本粘土学会への入会手続きをされた後, 討論会当日に受付にて会費をお支払いされることをお勧めします.
5. 本講演要旨に掲載された要旨等の著作権は本学会に帰属します. ただし, 著者自身が自分の論文等の全部または一部を複製・転載等の形で利用する場合はこれを妨げません.
6. 仙台戦災復興記念館には電源コンセントの数が大変少ないことから, パソコンは十分に充電してから会場にお持ちください.

## ■ 重要な日程

- 講演申し込み期間: 2023年6月5日(月)~7月8日(土)申込期限を遅れた場合, 講演申し込みを受け付けない場合がございますのでご注意ください.
- 参加申込期間: 2023年6月5日(月)~7月8日(土)締め切り厳守でお願いします.
- 参加登録料(講演要旨代込)・懇親会費  
払込期間: 2023年6月5日(月)~7月8日(土)締め切り厳守でお願いします.
- 討論会: 2023年9月12日(火)~9月13日(水)
- 見学会: 2023年9月14日(木)

## ■ 第66回粘土科学討論会実行委員会

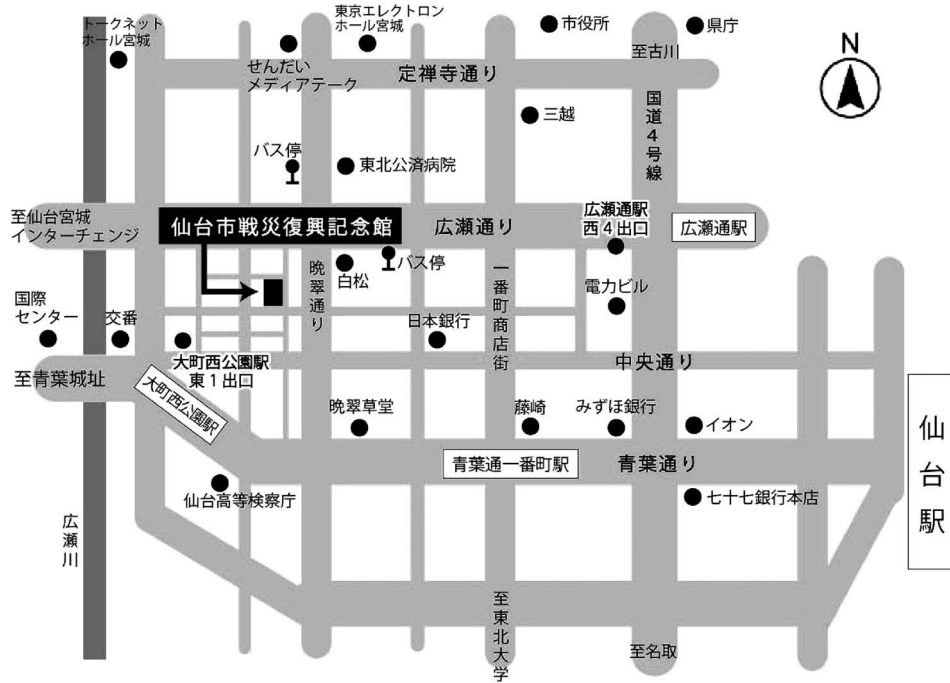
産総研東北センター 蛭名 武雄(委員長)

産総研東北センター 相澤 崇史

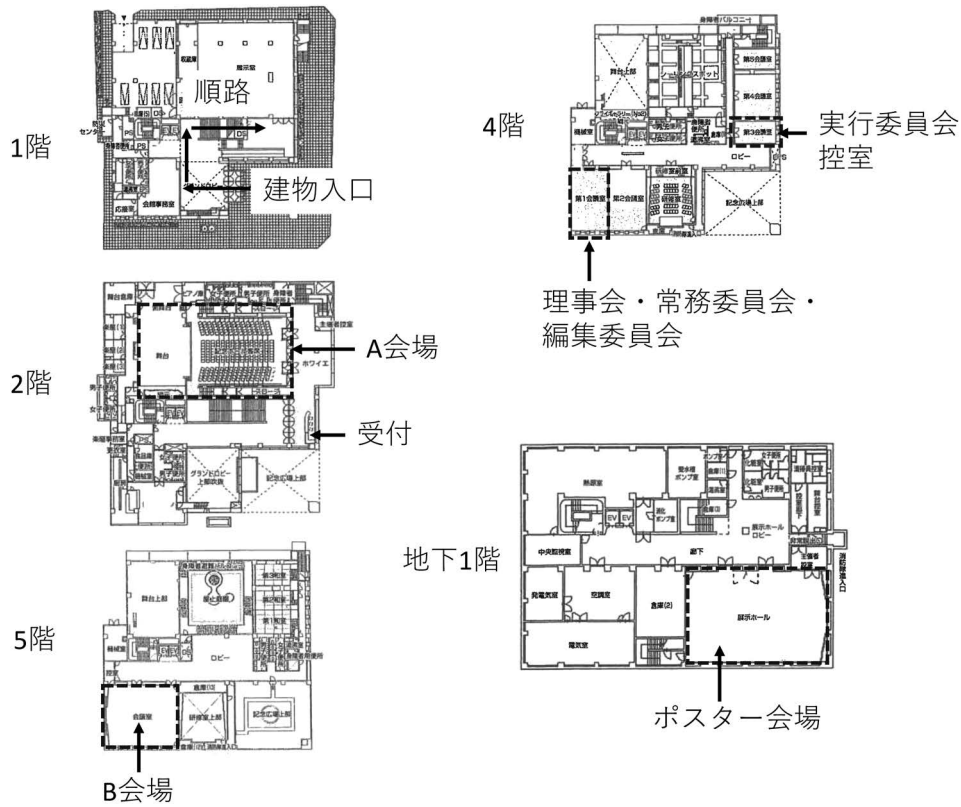
産総研化学プロセス研究部門 敷中 一洋

■ 会場周辺図

■ 会 場：戦災復興記念館（宮城県仙台市青葉区大町2-12-1）



■ 仙台市戦災復興記念館内案内



## ■ 特別企画およびシンポジウム

9月12日(火)

### シンポジウムA会場 (2階記念ホール)

#### ◆特別講演 13:30~14:20

挨拶 川俣純 (日本粘土学会会長・山口大)

特別講演 「よく定義された結晶性メタロシリケート粒子合成と放射光計測による骨格構造評価」

○村松淳司 (東北大学国際放射光イノベーション・スマート研究センター)

#### ◆シンポジウム「カーボンニュートラル実現に向けた粘土科学の役割」 14:30~17:50

座長：佐久間博 (NIMS)

##### S1 14:30~15:00

マントル岩石における二酸化炭素固定—そのメカニズムと地球科学的重要性—

○岡本敦 (東北大学)

##### S2 15:00~15:30

層状複水酸化物を用いたCO<sub>2</sub>回収と有用化合物への変換

○亀田知人 (東北大学)

座長：樽谷直紀 (広島大)

##### S3 15:30~16:00

無機材料を用いた熱エネルギーの変換貯蔵材料開発

○高須大輝 (東京工業大学)

(休憩) 16:00~16:20

##### S4 16:20~16:50

土木地質株式会社におけるカーボンニュートラル社会へ向けての脱炭素化への取り組み

～地中熱利用とセメント代替低炭素固化材アースシリカ～

○岡林昌宏 (土木地質株式会社)

座長：渡邊雄二郎 (法政大)

##### S5 16:50~17:20

カーボンニュートラルへ向けたCO<sub>2</sub>分離ゼオライト膜の開発

○長谷川泰久 (産総研)

##### S6 17:20~17:50

宮城県の脱炭素に向けた施策の方向性について

○瀧澤裕 (宮城県)

## ■ 一般講演プログラム

9月12日(火)

### 口頭発表A会場 (2階記念ホール)

9:30~11:00 座長：白井誠之

A1 分子動力学法による含水有機モンモリロナイトのカチオン種が表面構造およびベンゼン吸着に与える影響の解明

○宮川雅矢, 大城貴和子, 西村翔馬, 高羽洋充 (工学院大学先進工学部)

A2 パイロフィライト単層のイオン透過計算

○末原茂, 佐久間博 (物質・材料研究機構)

A3 単層モンモリロナイト上に配列した金属ポルフィリン集合体の原子分解能ADF-STEM観察

○石田洋平, 秋田郁美, 米澤徹 (北大院工)

A4 リン酸アンチモンナノシートコロイド内部構造の時間変化

○毛利恵美子<sup>1</sup>, 福元崇之<sup>1</sup>, 加藤利喜<sup>2</sup>, 宮元展義<sup>2</sup>, 中戸晃之<sup>1</sup> (<sup>1</sup>九州工業大学, <sup>2</sup>福岡工業大学)

A5 光エネルギーアップコンバージョンにおける粘土吸着の効果

○山岸皓彦<sup>1</sup>, 田村堅志<sup>2</sup>, 吉田純<sup>3</sup>, 佐藤久子<sup>4</sup> (<sup>1</sup>東邦大学医学部, <sup>2</sup>物質材料研究機構, <sup>3</sup>日本大学文理学部, <sup>4</sup>愛媛大学理学部)

- A6 非晶質ナノ粒子の散乱とスメクタイト001反射の分離法  
○月村勝宏, 三好陽子, 鈴木正哉 (産総研)

9月12日(火)

**口頭発表B会場 (5階会議室)**

9:30~11:00 座長: 横山信吾

- B1 締め固めたベントナイトから生成するコロイドの安定性に関する研究  
○浜本貴史<sup>1</sup>, 石寺孝充<sup>2</sup>, 松原竜太<sup>1</sup> (<sup>1</sup>NUMO, <sup>2</sup>JAEA)
- B2 ベントナイト緩衝材の特性評価に向けた水和モンモリロナイトの組織構造モデリング  
○木本和志<sup>1</sup>, 河村雄行<sup>2</sup>, 牧野仁史<sup>3</sup>, 高山裕介<sup>3</sup> (<sup>1</sup>岡山大学・環境生命自然科学学域, <sup>2</sup>東京工業大学・機械系, <sup>3</sup>日本原子力研究開発機構・核燃料サイクル工学研究所)
- B3 八谷鉱山に産出する鉄成分に富んだ緑泥石球晶の記載  
○井上紗綾子 (愛媛大学GRC)
- B4 岐阜県土岐口蛙目粘土層の三次元地質モデリング  
○高木哲一<sup>1</sup>, 豊田守<sup>2</sup>, 浪久信<sup>2</sup>, 深谷暢樹<sup>3</sup> (<sup>1</sup>(株)AIST Solutions, <sup>2</sup>ジーエスアイ(株), <sup>3</sup>東海窯業原料(株))
- B5 白雲母のせん断変形におけるリプロケーションの影響  
○佐久間博, 末原茂, 田村堅志 (NIMS)
- B6 南インドTamil Nadu州の超高温グラニューライト地帯に産する粘土鉱物  
○中川昌治, 栗田泰宏, 松浦君枝, 内村文哉 (高知大学)

9月13日(水)

**口頭発表A会場 (2階記念ホール)**

9:30~10:30 座長: 中戸晃之

- A7 TMB-mica インターカレーション化合物クロミズム発現機構の調査  
○木下麗羅, 石丸臣一 (東京電機大学大学院工学研究科)
- A8 塩挿入鉱物変換法による粘土鉱物の光触媒化  
○杉田剛<sup>1</sup>, 森勝伸<sup>2</sup>, 下山巖<sup>1</sup> (<sup>1</sup>日本原子力研究開発機構, <sup>2</sup>高知大学教育研究部)
- A9 負電荷間距離の異なる粘土ナノシートの合成とテトラカチオン性ポルフィリンの吸着挙動の評価  
○澤崎太一<sup>1</sup>, 平出有吾<sup>1</sup>, 嶋田哲也<sup>1</sup>, 高木慎介<sup>1,2</sup> (<sup>1</sup>東京都立大学都市環境学部, <sup>2</sup>都立大学水素エネルギー社会構築推進研究センター)
- A10 層状無機-イミダゾリン共有結合体/Ru(II)メタロ超分子ポリマー複合体のエレクトロクロミック特性評価  
○藤井和子<sup>1</sup>, Santra Dines Chandra<sup>1</sup>, Bera Manas Kumar<sup>1</sup>, 坂田和彦<sup>1</sup>, 若原孝次<sup>1</sup>, 長畑律子<sup>2</sup>, 樋口昌芳<sup>1</sup> (<sup>1</sup>物質・材料研究機構, <sup>2</sup>産業技術総合研究所)

10:30~11:30 座長: 毛利恵美子

- A11 金を蒸着した基板と分散液の界面への光照射によるニオブ酸ナノシートの操作  
○新山和志<sup>1</sup>, 中尾脩<sup>2</sup>, 原田拓海<sup>2</sup>, 鈴木康孝<sup>2</sup>, 中戸晃之<sup>3</sup>, 川俣純<sup>2</sup> (<sup>1</sup>山口大学理学部, <sup>2</sup>山口大学大学院創成科学研究科, <sup>3</sup>九州工業大学院工学研究院)
- A12 粘土と樹脂の複合膜におけるヘリウムガス透過度の温度依存性  
○窪田宗弘<sup>1</sup>, 篠木進<sup>1</sup>, 相澤崇史<sup>2</sup>, 蛭名武雄<sup>2</sup> (<sup>1</sup>クニミネ工業(株), <sup>2</sup>産業技術総合研究所)
- A13 各種粘土/有機高分子からなる同時酵素糖化粉砕リグニン含有水蒸気バリア性透明膜の開発  
○鈴木麻実<sup>1</sup>, 敷中一洋<sup>1</sup>, 大塚祐一郎<sup>2</sup> (<sup>1</sup>産総研 化学プロセス研究部門, <sup>2</sup>森林研究・整備機構)
- A14 粘土-バイオマスポリアミドナノコンポジットの熱老化性  
○赤川達哉<sup>1,2</sup>, ジョナサン タンクス<sup>2</sup>, 佐久間博<sup>2</sup>, 内藤公喜<sup>2</sup>, 渡邊雄二郎<sup>1</sup>, 田村堅志<sup>2</sup> (<sup>1</sup>法政大学, <sup>2</sup>NIMS)

## 15:00~16:00 座長:鈴木憲子

- A15 カチオン性ピラー [5] アレーンを利用したベントナイトのインターカレーション挙動  
○角田貴洋<sup>1</sup>, 馬場雄大<sup>1</sup>, 生越友樹<sup>2,3</sup>, 山岸忠明<sup>1</sup> (<sup>1</sup>金沢大学大学院自然科学研究科, <sup>2</sup>京都大学大学院工学研究科, <sup>3</sup>金沢大学WPI NanoLSI)
- A16 水中でのモンモリロナイト層間へのバニリンの吸脱離にカチオン性界面活性剤が及ぼす影響  
○竹山麗<sup>1</sup>, 齊藤寛治<sup>1,2</sup>, ゲガンレジス<sup>3</sup>, 小笠原正剛<sup>1</sup>, 加藤純雄<sup>1</sup> (<sup>1</sup>秋田大学院理工, <sup>2</sup>早大材研, <sup>3</sup>早大理工)
- A17  $K_{0.8}Ti_{1.73}Li_{0.27}O_4$ の合成温度と陽イオン交換能の相関  
○齊藤寛治<sup>1,2</sup>, 山口修平<sup>1</sup>, 小川誠<sup>3</sup>, 小笠原正剛<sup>1</sup>, 加藤純雄<sup>1</sup> (<sup>1</sup>秋田大院理工, <sup>2</sup>早大材研, <sup>3</sup>VISTEC)
- A18 分解性ゲルを利用したナノシートへの生体分子修飾  
○安富大祐<sup>1</sup>, 今林悠真<sup>1</sup>, 田中一輝<sup>1</sup>, 大背戸豊<sup>2</sup>, 宮元展義<sup>1</sup> (<sup>1</sup>福岡工業大学大学院工学研究科, <sup>2</sup>奈良女子大学大学院工学部)

## 16:00~17:00 座長:亀島欣一

- A19 無機カチオン型モンモリロナイトの水-アセトニトリル混合溶媒への分散  
○中戸晃之<sup>1</sup>, 大東祐輝<sup>1</sup>, 毛利恵美子<sup>1</sup>, 窪田宗弘<sup>2</sup> (<sup>1</sup>九州工業大学, <sup>2</sup>クニミネ工業(株))
- A20 単分散チタニアナノシートへの  $[Ru(bpy)_3]^{2+}$  錯体の導入と機能化  
○岩野広幸<sup>1</sup>, 中嶋裕二<sup>1</sup>, 三好桃佳<sup>1</sup>, 加藤利喜<sup>1,2</sup>, 加藤隆史<sup>2</sup>, 宮元展義<sup>1</sup> (<sup>1</sup>福岡工業大学大学院工学研究科生命環境化学専攻, <sup>2</sup>東京大学大学院工学研究科化学生命工学専攻)
- A21 層状ケイ酸塩層表面へのSi-H基の固定化による金属イオンの還元  
○堀暖奈<sup>1</sup>, 彌富昌<sup>1</sup>, 松野敬成<sup>1,2</sup>, 黒田一幸<sup>1,2</sup>, 下嶋敦<sup>1,2</sup> (<sup>1</sup>早大先進理工, <sup>2</sup>早大材研)
- A22 多孔質シリカ中に弱く固定された単原子Pd触媒  
○Esmail Doustkhah<sup>1,2</sup>, 津野地直<sup>3</sup>, M. Hussein N. Assadi<sup>4</sup>, ○井出裕介<sup>1,5</sup> (<sup>1</sup>NIMS, <sup>2</sup>Koç大学, <sup>3</sup>広島大学, <sup>4</sup>理研, <sup>5</sup>横浜国立大学)

## 9月13日(水)

## 口頭発表B会場 (5階会議室)

## 9:30~10:30 座長:手束聡子

- B7 水田土壌中に形成される2:1型層状珪酸塩とlepidocrocite ( $\gamma$ -FeOOH)の混合構造  
○小暮敏博<sup>1</sup>, 佐藤良良<sup>2</sup>, 増田曜子<sup>2,3</sup>, 高橋嘉夫<sup>1</sup>, 妹尾啓史<sup>2,3</sup> (<sup>1</sup>東大院理, <sup>2</sup>東大院農, <sup>3</sup>東大微生物連携機構)
- B8 酸処理天然ゼオライトのアルカリシリカ反応抑制効果  
○水野清<sup>1</sup>, 上原元樹<sup>2</sup>, 長野和秀<sup>3</sup>, 三代江里子<sup>3</sup>, 山崎淳司<sup>4</sup> (<sup>1</sup>(株)ジェイアール総研エンジニアリング, <sup>2</sup>鉄道総合技術研究所, <sup>3</sup>大福工業(株), <sup>4</sup>早稲田大学)
- B9 加熱した粘土鉱物への重金属吸着  
○池上麻衣子, 福谷哲 (京都大学)
- B10 Co含有層状複水酸化物 (Co-LDH) を触媒前駆体として用いたカーボンナノチューブの合成とCo-LDHの触媒化メカニズムの検討  
○千田知香<sup>1</sup>, 熊谷陸駆<sup>2</sup>, 會澤純雄<sup>1</sup>, 桑静<sup>1</sup>, 平原英俊<sup>1</sup>, 木村寛恵<sup>2</sup>, Don N. Futaba<sup>3</sup> (<sup>1</sup>岩手大院理工学研究科, <sup>2</sup>一関高専未来創造工学科, <sup>3</sup>産総研)

## 10:30~11:30 座長:藤村卓也

- B11 層状複水酸化物のイオン導電機構  
○園山範之, 山口弦希, 糟谷啓仁 (名古屋工業大学大学院工学研究科)
- B12 環状化合物を用いたハイドロタルサイトの構造制御  
○高田和哉, 角田貴洋, 山岸忠明 (金沢大学大学院自然科学研究科)
- B13 乳酸/層状複水酸化物複合体の耐候性  
○亀島欣一, 荒木潤也, 西本俊介 (岡山大学大学院環境生命自然科学研究科)
- B14 層状複水酸化物を配合したコンクリートの海水における元素循環に関する基礎検討 (第2報)  
○手束聡子, 星光希, 愛敬みなみ, 島田里奈子 (千葉科学大学)



## ■ ポスター発表

9月13日(水)

### ポスター発表 (地下1階展示ホール)

13:00~14:50 (コアタイム 奇数番号: 13:00~13:50, 偶数番号: 14:00~14:50)

- P1 エタノールを含んだ粘土分散液上における長鎖アルキルアンモニウムイオンの薄膜形成挙動  
○梅村泰史, 山本浩二 (防衛大学校応用化学科)
- P2 スメクタイト系粘土の可溶性シリカ除去による諸特性の変化  
○小黒雅智, 齋藤健吾, 佐藤悌治, 黒崎英和 (黒崎白土工業(株))
- P3 ベントナイト分散液(泥水)の粘性改質技術の開発  
○諸留章二 (クニミネ工業株式会社 黒磯研究所)
- P4 リン酸水素-1,1'-ビナフチル-2,2'-ジイル/層状水酸化亜鉛を用いた無機キラル材料の合成  
○堀口奈湖<sup>1</sup>, 會澤純雄<sup>1</sup>, 桑静<sup>1</sup>, 平原英俊<sup>1</sup>, 佐藤久子<sup>2</sup> (<sup>1</sup>岩手大学大学院総合科学研究科, <sup>2</sup>愛媛大学理工学部)
- P5 タウリンと層状化合物による固体酸の合成  
○大川政志 (沼津高専)
- P6 四ケイ素型高電荷密度マイカの四面体位置と八面体位置の同時同形置換による構造変化  
○池山匠, 樽田誠一 (信州大学工学部)
- P7 環状構造を有するイオン液体のカオリナイトに対する効果  
○谷口諒成<sup>1</sup>, 角田貴洋<sup>1</sup>, 山岸忠明<sup>1</sup> (<sup>1</sup>金沢大学大学院自然科学研究科)
- P8 フェニルアラニンと酒石酸を取り込んだ層状複水酸化物の合成とその振動円二色性スペクトルによる評価  
○會澤純雄<sup>1</sup>, 千田知香<sup>1</sup>, 井田穂花<sup>1</sup>, 桑静<sup>1</sup>, 平原英俊<sup>1</sup>, 佐藤久子<sup>2</sup> (<sup>1</sup>岩手大学理工学部, <sup>2</sup>愛媛大学理学部)
- P9 メカノケミカル法による薬剤/層状複水酸化物の合成とその粒径制御に関する研究  
○川崎丞亮<sup>1</sup>, 會澤純雄<sup>1</sup>, 桑静<sup>1</sup>, 平原英俊<sup>1</sup>, 佐藤久子<sup>2</sup> (<sup>1</sup>岩手大学大学院総合科学研究科, <sup>2</sup>愛媛大学理学部)
- P10 ベントナイト分散液の水熱処理によるゲル形成過程の観察  
○吉川絵麻, 横山信吾 (一般財団法人電力中央研究所)
- P11 モンモリロナイト層間へのFe(III)導入とその光触媒活性  
○高野伸一郎<sup>1</sup>, 井出裕介<sup>2</sup>, 岡田友彦<sup>1</sup> (<sup>1</sup>信州大工, <sup>2</sup>NIMS)
- P12 モンモリロナイト吸着層によるPET繊維の表面改質とアミン類の吸着性評価  
○渡邊光敬<sup>1</sup>, 宇佐美久尚<sup>1</sup>, 鈴木素<sup>2</sup> (<sup>1</sup>信州大学繊維学部, <sup>2</sup>hap(株))
- P13 亜鉛フタロシアニン/サポナイト複合体の光一重項酸素生成効率における吸着密度依存性  
○藤村卓也<sup>1</sup>, 岡田和弥<sup>1</sup>, 西口雅俊<sup>1</sup>, 池上崇久<sup>1</sup>, 荒木保幸<sup>2</sup>, 笹井亮<sup>1</sup> (<sup>1</sup>島根大院自然科学, <sup>2</sup>東北大多元研)
- P14 サポナイト表面を反応場としたPdフタロシアニンによる光一重項酸素生成とそれに次ぐ酸化反応  
○藤村卓也<sup>1</sup>, 岡田和弥<sup>1</sup>, 西口雅俊<sup>1</sup>, 池上崇久<sup>1</sup>, 荒木保幸<sup>2</sup>, 笹井亮<sup>1</sup> (<sup>1</sup>島根大院自然科学, <sup>2</sup>東北大多元研)
- P15 ポリスルフィド修飾層状複水酸化物(LDH)の水銀吸着特性  
○田村堅志<sup>1</sup>, 平野琳大朗<sup>2</sup>, 渡邊雄二郎<sup>2</sup>, 佐久間博<sup>1</sup>, 加門真純<sup>1</sup> (<sup>1</sup>NIMS, <sup>2</sup>法政大学)
- P16 合成サポナイトの分子モデリングと有機アンモニウムイオンで修飾した層間における水の拡散性の解明  
○金子元樹, 小林諒也, 宮川雅矢, 高羽洋充 (工学院大学先進工学部)
- P17 高温, 放射線照射がベントナイト中の微生物活性に及ぼす影響  
○後藤考裕, 根本脩平, 鈴木覚, 北川義人 (原子力発電環境整備機構)
- P18 泥だんごキャッチボールで, 粘土分子間力を手の平で体感する「中空泥だんご出前教室」の概要と特徴  
○水野克己<sup>1</sup>, 乾徹<sup>2</sup>, 大嶺聖<sup>3</sup>, 地下まゆみ<sup>4</sup>, 皆瀬慎<sup>5</sup>, 遠藤和人<sup>6</sup> (<sup>1</sup>大阪ベントナイト事業協同組合, <sup>2</sup>大阪大学, <sup>3</sup>長崎大学, <sup>4</sup>大阪大谷大学, <sup>5</sup>ホージュン, <sup>6</sup>国立環境研究所)
- P19 小角散乱を用いたスメクタイト含有量の検討  
○三好陽子, 月村勝宏, 金子信行, 鈴木正哉 (産業技術総合研究所 地圏資源環境研究部門)
- P20 天然ゼオライト複合体中の肥料成分の調製と徐放性植物生育培地としての評価  
○高松優里彩, 岡本未知, 金田健, 渡邊雄二郎 (法政大学生命科学部)
- P21 セシウムを取り込んだアナルサイト(ポルサイト)の計算研究  
○末原茂<sup>1</sup>, 上原英愛<sup>2</sup>, 田村堅志<sup>1</sup>, 渡邊雄二郎<sup>2</sup> (<sup>1</sup>物質・材料研究機構, <sup>2</sup>法政大学)
- P22 スウェーデン・キルナ鉱山における鉄-ベントナイト相互作用に関するナチュラルアナログ研究  
○根本脩平<sup>1</sup>, 鈴木覚<sup>1</sup>, 後藤考裕<sup>1</sup>, 藤村竜也<sup>2</sup>, 菊池亮佑<sup>2</sup>, 大竹翼<sup>2</sup>, 佐藤努<sup>2</sup>, Raphael Schneeberger<sup>3</sup>, Ulf B.

Andersson<sup>4</sup> (<sup>1</sup>NUMO, <sup>2</sup>北海道大学, <sup>3</sup>Nagra, <sup>4</sup>LKAB)

P23 天然環境下における2年間のセメント-ベントナイト相互作用

○新橋美里, 横山信吾, 渡邊保貴, 吉川絵麻 (電力中央研究所)

P24 熱分解型元素分析/同位体比質量分析計 (TCEA/IRMS) を用いたケイ酸塩鉱物の酸素安定同位体比の測定方法の改良

○菊池亮佑<sup>1</sup>, 石渡翔丸<sup>2</sup> (<sup>1</sup>北海道大学工学研究院, <sup>2</sup>北海道大学工学院)

P25 島根県大田市朝山地域の凝灰岩 (ベントナイト鉱体) に見られる熱水変質作用の特徴

○大平寛人<sup>1</sup>, 真野稜平<sup>2</sup> (<sup>1</sup>島根大学総合理工学部, <sup>2</sup>島根大学(現)中日本ハイウエイ・エンジニアリング東京(株))

P26 酸化還元状態によって規定された完新世安山岩質テフラの差別風化過程: 鉄の触媒作用によるハロイサイト集積層の生成

○福井宏和<sup>1</sup>, 松四雄騎<sup>2</sup>, 渡邊哲弘<sup>3</sup>, 北尾真司<sup>4</sup>, 小林康弘<sup>4</sup>, 篠田圭司<sup>5</sup> (<sup>1</sup>京都大学理学研究科, <sup>2</sup>京都大学防災研究所, <sup>3</sup>京都大学農学研究科, <sup>4</sup>京都大学複合科学研究所, <sup>5</sup>大阪公立大学理学研究科)

P27 その場X線回折試験による不飽和モンモリロナイトの水分浸透挙動観察

○木本和志<sup>1</sup>, 河村雄行<sup>2</sup>, 松井大知<sup>1</sup> (<sup>1</sup>岡山大学環境生命自然科学研究科, <sup>2</sup>東京工業大学機械系)